

住民説明会（町内会 第5回） 議事録

- 日 時 令和8年7月7日（火） 18：30～20：00
- 場 所 府中町生涯学習センター くすのきプラザ 1Fギャラリー
- 対象町内会 沖、市、尾首、八幡、八幡四丁目、浜田本町、大通、茂陰北、茂陰南、八幡ライオンズ、ガーデンアクシス
- 町出席者 寺尾町長、桑原副町長
- 事務局 谷口総務企画部長、藤永政策企画課長、西山政策企画課課長補佐、浅田主査
- 参加者数 58人
- 内 容
 1. 開会
 2. 町長あいさつ
 3. 出席者の紹介
 4. 本日の流れ
 5. 資料説明
 6. 質疑応答
 7. 町長あいさつ
 8. 事務連絡
 9. 閉会
- 配付資料 次第
説明資料
パンフレット
アンケート（参加者記入後、事務局が回収）

●概要

1. 開会
2. 町長あいさつ
3. 出席者の紹介
4. 本日の流れ

説明会の概要について事務局から説明。

5. 資料説明

説明資料により、事務局から説明

(町長)

ただいま事務局から資料の説明があったが、私から少し補足をさせていただく。32 ページに記載のとおり、府中町の人口はいずれ 5 万人を切る推計となっている。また、33 ページにあるように、かつて 53,000 人あった人口が近年では 51,600 人と、約 1,300 人減少しており、この傾向が続くと人口が 5 万人を切るのはそう遠くないと思っている。また、かつて年間 500 人ほどであった出生数が昨年度は 369 人となっており、少子化が急速に進む可能性がある。このような背景から、まちのイメージアップを行うとともに、様々な施策を展開し、人口減少に歯止めをかけたいと思っている。

イメージアップのために、府中町出身の漫画家である田中宏さんに原案と監修を依頼し、府中町の PR アニメを作成している。これは、府中町に暮らしている「椿町ファミリー」というキャラクターの、幸せな三世代家族の日常を描いたアニメーションであり、まちの暮らし心地の良さや快適さをアピールするものとなっている。住民の皆様は目にすることが少ないかもしれないが、Y o u T u b e や役場 2 階ロビー、広島駅南口地下広場、イオンモール広島府中のマシュパンギャラリーで放映しているほか、7 月からは映画館のバルト 11 の全スクリーンで上映前に流す予定としており、若い世代へ府中町の温かい暮らしを伝えていきたいと考えている。

このような PR をシティプロモーションと呼び、その一環として、単独市制を考えている。府中町の都市的な魅力や、商・工・住のバランスがとれた便利な都市であることを広くアピールする方法として、市となり、イメージや認知度を高めて、暮らしやすいまちをしっかりと PR し、移住・定住や働き手の確保、企業誘致を含めた波及効果により、地域の活性化や人口維持を図っていききたいと思っている。ご存

知のように、市制を検討しているだけでマスコミから取材を受け、府中町が全国に紹介されている。人口が5万人を超えた町というだけではマスコミには取り上げられないため、市制施行には経費以上の宣伝効果があると考えている。また、直近で市制施行を行った自治体は平成30年10月の福岡県那珂川市であり、府中町が市制施行をすることになれば、令和になって初めて誕生した市ということで、「令和初の市になった自治体」というキャッチコピーが手に入る。

シティプロモーションの目的やメリットには、地域の魅力やイメージの向上、ブランド力の強化が挙げられる。市制施行により「生活がしやすい」「暮らしやすい」「憧れのまち」という府中町の魅力を全国にアピールすることは、企業が出店先を検討する際に選択肢の一つとして認知してもらうことに繋がる可能性があり、非常に効果の高いシティプロモーションであると考えている。市制施行は人口が5万人を下回ると実現できないため、人口5万人を維持しているこのチャンスを逃したくないのが私の強い思いである。人口減少に歯止めをかけるためには、何らかの対策が必要であり、府中町のポテンシャルを最大限に生かし、将来の発展につなげるために、市制施行を前向きに検討していただけると幸いである。

6. 質疑応答の要旨

（参加者）

資料14ページに記載のある過去に市制移行した町村は、市になって約10年以上が経過している。行政サービスの充実や都市的イメージの獲得という目標は達成できたのか。

（副町長）

令和7年度から先行自治体の調査をしており、8自治体へ訪問などを行っている。

市制施行後の国勢調査では、8自治体のうち7が人口増加となり、1は人口減少となった。減少した1自治体については、主要都市である千葉市との距離が少し遠かったこともあり、アクセス的な有利性が低かったことが要因と考えられる。

一方で、人口が増加した7自治体については、東京都心、名古屋、仙台、福岡などの主要都市とのアクセスが発達しており、新たな企業や商業施設の新設も相まって、居住地として選択されるまちとしての認知度と生活の利便性が高まったと考えている。

その後の人口については、2025年の国勢調査の速報値を見ると、人口がさらに増加したところが3、5万人を維持しているところが3、5万人を切ったところが2という状況である。

これには様々な要因があると思うが、市制施行は自治体の名称変更のみにとどま

らず、これをきっかけとしたシティプロモーションに加え、企業の活動においても好循環が得られる状況により、全国的に人口減少が進む中でも、人口減少に一定程度の歯止めをかけることができたと分析・評価をしている。府中町としては、将来的に人口が減少する予測にある中で、第5次総合計画に定めた10年後の令和17年における目標人口の51,500人の達成に向けた手段の一つとして市制施行を検討している状況である。

行政サービスの充実としては、町から市へ移行する場合、福祉サービスの充実が一番に挙げられ、福祉事務所を開設することで住民サービスがより身近に感じられるというメリットがある。市制を施行した8自治体では、全てで新たに福祉事務所を開設しているが、府中町は既に福祉事務所を開設しており、住民に対してサービスを既に提供していることから、仮に市制を施行しても、住民サービスが低下することはない。

(参加者)

資料16ページにある市制施行の要件の中で、「高等学校若しくはこれに準ずる学校又は中等教育学校が3以上設けられている」が調査中となっている。該当する高等学校は安芸府中高校のみだと思うが、この調査中の意味は何か。

(事務局)

現在、町内には安芸府中高校と通信制の高等学校の校舎がある。これだけ見ると、1校若しくは2校という判断になるが、町内には他に専門学校が2校あり、これが要件の「これに準ずる学校」に該当するか、広島県と協議をしている。広島県の条例であるため、解釈上問題がないのか、又は条例を改正する必要があるかは、最終的には広島県の判断になると考えている。

(参加者)

広島県の調査結果を待つということか。

(事務局)

府中町としての見解を示しつつ、広島県の最終的な判断を仰ぎたいと考えている。

(参加者)

市制移行は町民の中から湧き上がった話ではなく、あくまでも町長のトップダウンによる話だと思っている。そのため、このような説明会を開催し、町民の意見を聞いた上で検討をしていくという認識である。

一方で、中国新聞に6月29日の町議会での一般質問における町長の発言が載って

おり、住民の意向によっては今後のスケジュールや進め方を見直す可能性もあった。これを受け取ると、市制移行は決定事項であり、ゴールは動かさないという強い意志が感じられ、“何度も説明会を開催し様々な意見が出たが、一定の理解が得られたため市制移行を行う”というやり方が見え透いていると思った。アンケートを取り、町のままであるべきという意見が多ければ、立ち止まるべきだと思う。

町のままでは、全国にPRをするのが難しいという話があったが、島根県の海士町は人口増加を達成した。町のままでも高い評価を得ることはできると考えており、村や町だから企業は進出しないという時代ではないと思う。府中町を大事にする思いを大切に、市制移行を検討してほしい。

(町長)

私の思いが前のめりとなり、誤解させてしまい申し訳ない。私が市になりたいと言って市になれるものではなく、住民の皆様や審議会の意見を聞き、町議会及び県議会の議決を受けなければ、市制移行はできない。住民の皆様の意見を踏まえて、進めていくことを改めてご理解いただきたい。

(参加者)

今のまま5万人の人口を維持しつつ、行政が充実し、町民が豊かに暮らしている点をアピールすることで府中町に人を呼び込めると思う。

過去の町長や町議会議員は火葬場を作ると発言していたが、現在、作られていないので、市になったら作ることを約束してほしい。

市になっても行政サービスは変わらないという説明だったが、町長が市長になり、町職員が市職員になり、町議会議員が市議会議員になることが気になる。道路を直してほしいと言っても断れたことや役場で傷つくことを言われたこともあり、現在の町政に納得していない。

(町長)

頂いた意見をしっかり職員へ伝え、改善に繋げていく。

(参加者)

アンケートではなく、住民投票によって市制移行の是非を判断してほしい。

(事務局)

以前、広島市との合併が議論された際は、府中町自体が無くなる可能性があったため、住民投票を行っている。一方で、市制施行は名称の変更はあるが、町自体が無くなるわけではないことや、市制へ移行した他自治体もアンケートにより住民意

向を把握していたことから、住民投票を行うことは考えていない。

(町長)

市制施行の検討は第5次総合計画に基づいて出てきた施策の一つであり、名称は変更となるが、現在の町の制度が変わらないことから選挙公約には馴染まないと思う。

アンケートの結果や、町議会及び審議会での審議を基に市制施行を検討していく。

(参加者)

説明を聞いても市になるメリットを感じられず、町のままだでもPR活動はできると思った。市になったら、火葬場は必ず必要になると思うので、市制移行後に何が変わるかをもう一度考えてほしい。

中学生の娘と市制移行についての話をしたが、メリットが分からないと言っていた。子ども達の将来に関わることなので、選挙権を持っている18歳以上の高校生も含めた住民投票をすべきだと思う。

(参加者)

人口が5万人以上の町が市になることは自然な流れであり、人口減少を食い止めるために府中町も市になるという説明であった。市になることよりも、放課後児童クラブや子ども医療費の無償化を行ってほしい。

11月に実施するアンケートはどのような内容になるのか。また、説明会でのアンケートとの関連性はどうか。

(事務局)

アンケートについては、市になるのが良いか、町のままで良いか、また、市になる場合はどのような名称が良いかを問うこととし、広報ふちゅうと併せて配布することを検討している。

説明会でのアンケートは、11月に実施するアンケートとは別で集計し、参加した方々の意向を把握するために行っている。

(町長)

人口を確保しなければ、税収を確保できず、行政サービスの提供ができなくなる可能性があり、人口が減少する状況を町長として見過ごすことはできない。人や企業を呼び込むためには、府中町をPRする必要がある、市制施行は府中町にしかできない取組である。人口を確保し、行政サービスをしっかり行いたいという思いを理解していただきたい。

(参加者)

目標としている人口 5 万人の年齢構成を教えてください。

(事務局)

現在の府中町の人口年齢区分は 0 から 14 歳が約 14.3 パーセント、15 歳から 64 歳が 60.6 パーセント、そして 65 歳以上が 25.1 パーセントとなっている。

10 年後の推計人口は現在の人口ピラミッドが 10 年後ろに倒されるので、最も府中町の中で人口の多い世代は 50 歳代から 60 歳代となる。

(参加者)

11 月に実施するアンケートの結果を踏まえて、改めて説明会を開催する予定はあるのか。

(事務局)

今のところ説明会の実施は考えていない。

(参加者)

マツダは市制移行について、どう思っているのか。

(事務局)

審議会にマツダの方が委員として参加していただいているが、現時点で個別には具体的な意見は伺っていない。

(参加者)

メリットが抽象的であるため、判断が難しく、町のままで良いという意見が多いと思う。費用が約 3 億円以上かかると思うが、3 億円をかけて何がしたいのか、人口をどれくらいにしたいのかが分からない。通常、企業であれば必ず目標値があるが、目標が全て抽象的であるため、判断がつかないと思う。市制となった 1 年後、2 年後の具体的なものがあれば判断がしやすいが、抽象的なことばかりで、結局何が変わるか、何がデメリットかが分からない。企業にとってはチラシ等を作り替えるための費用負担が発生し、町としても税金を使うわけであり、明確な目標を示さないと皆納得しないと思う。もう少し丁寧な資料と説明が必要であり、住民投票を行わないならば、町長選挙を行い、民意を問うべきではないか。府中町において住める範囲は限られており、若い人を受け入れるための空き家の必要数等も明確ではないのに、市になったら人口が増加するとの一点張りでは不安極まりない。また、

住民に説明する前にメディアに話が出たことも気に入らない。

(町長)

第5次総合計画に定めた10年後の令和17年における目標人口の51,500人が一つの成果指標であると考えている。これは揚倉山健康運動公園の再整備、南公民館の建て替え、向洋駅周辺の区画整理などの様々な施策を行い、人口維持を目指すものである。その施策の一つとして、市制施行という方法があり、府中町をPRしたいと考えている。

府中町はかつて、53,000人が住んでいた実績があるので、51,500人は達成できると考えている。

(参加者)

府中町は昭和12年に町となり、もうそろそろ市になっても良いと思っているが、住民の皆さんは、府中町のままで良い、広島市と合併すべきなどの様々な意見を持っていると思う。

町長は自分が市長になりたいから市制移行を検討しているのではなく、住民の皆さんとこれからの府中町を考えていこうと提案をされていると思うので、皆さんも府中町の将来について考えていただければと思う。

(参加者)

現在の町長はしきりに、将来府中町の人口が減少するため今のうちに市制へ移行した方が良く、全く根拠を示さずに言っている。しかし、広島市との合併が議論された時に当選した町長は、府中町にはイオンモールがあり、交通の利便性や生活環境が良いため、住民目線で福祉と教育を中心に充実させれば住みよいまちとなり、人口が減ることはないと言っていた。財政的には、イオンモールとマツダの固定資産税を安定財源として、人口5万人までが最も効率的に行政の運営ができ、箱物の行政は財政を圧迫して住民の減少につながると言っていたのを思い出す。住みやすい府中町と評価されているのに、根拠もなしに市制移行を強行して、府中町のブランドを無くしてしまうことに疑問を感じている。

根拠のない市制移行に2億円余りの税金が使われ、企業と個人の住所変更などの手間と費用は各自に負担させるということを、住民に正しく伝えることが必要であると感じている。市長や市議会議員と呼ばれたためという声が本音でないことを望んでいる。

7. 町長あいさつ

8. 事務連絡

本日寄せられた質問は、他の説明会等での質問とあわせて取りまとめ公開すること、町ホームページで質問の受付を行っていることを説明。
また、アンケート記入のお願いと、提出の方法について説明。

9. 閉会